

平成24年2月6日

(黒字100%)

No92

1月26日高林会計経営方針発表会を開催しました。5回目の開催となりました。所長の全体方針を発表し、所員のグループ、個人の目標を発表し、昨年のポイント制度の表彰を行いました。お客様の黒字化もビジョンに親身な相談相手となる様「好循環システム(初期指導(記帳)→巡回監査→月次決算報告(12回)→決算前検討会(決算予測・次年度計画)→決算報告(財務分析)→書面審判→初期指導→……)をついていこうの方針を立ちました。私達は、お客様から給料を頂いており、お客様が黒字になり、喜び、利益から頂いています。数多くのお客様は、赤字で、借入金から頂いており、私達の出来事として、会計面から、好循環システムの徹底かと思っています。毎月訪問して頂くことにより、売上増、経費節減となる情報を提供できればと思っています。全てのお客様が黒字になりお客様も私達も雇用の確保を図れると思っています。ただ売上増(利益増)については、努力と犠牲が必要かと思っています。世の中から変人扱いされるのが、片寄っているのが、仕事人間、家康の団らんは無縁とか、情誼はずれとか言われるぐらいではないかと思っています。努力は、「いっしょけんめいつとめはげむこと」犠牲は、「ある目的のために努力・財産・生命なども失うことをおそれないこと」給料はお客様から頂いている。お客様が喜んで頂く、感動して頂く、満足して頂く、安心して頂く。一生懸命考えて考えて考え抜いて行動しなければならぬとダメだと思っています。一生懸命は「命がけで仕事をすること。本気で物事をすること」社長は、社員さんから給料を頂いています。社員さんが喜んで、感動、満足、安心、一生懸命に考え抜いて行動する。お客様満足と社員満足となる。経営者は方針を立て利益を出し、お金、人材、を貯めることに熱心にならなければなりません。経営者の私達も利益を出し、雇用の確保だと思っています。

高林幸裕